

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

# ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895  
FAX 098-863-1495

## 経営者への活きた言葉

**環境を見て、内部を見て、会社の変化についていけるのか把握する** 永守 重信 (日本電産会長兼社長)

1. 最高益を更新する企業が相次いでいる。7年ぶり、8年ぶり、中には20年ぶりの更新といった企業も珍しくない。だが、大事なものはこれからだ。企業というものは不振から立ち直っても一度の回復ではまだ本物とはいえないからだ。企業を悪くするのは「マンネリ」「おごり」「怠慢」「妥協」「あきらめ」「油断」だ。苦しい時があっても良くなると、これらに陥りやすい。だが、一度苦難を経験しているから、その記憶はある。それこそが強みだ。
2. 大事なものは環境の変化に敏感になること。苦難の時を思い起こして、いつも先に起こり得る事象に集中し続けることだ。ただし、経営者はただ「業績を上げろ」「黒字を維持しろ」と言うだけではダメだ。実態を把握せずに無理を言い続けると、現場は最後には不正すら起こしかねない。
3. 私は世界中のグループ企業の現場から毎週、市場の変化や顧客の動向などを書いた週報を受け取りすべて熟読している。その一方で「整理」「整頓」「清掃」「清潔」「作法」「しつけ」という6つのSで世界のグループ企業を監査する部隊を常に動かしている。6Sは製造現場などの管理のためによく言われる言葉だが、当社ではこれを徹底している。6Sは現場の規律の基になっていると言っていい。環境を見て、内部を見て、どれだけ会社の変化についていけるかを把握するわけだ。だが「業績を上げろ」と言うだけの経営など経営ではない。  
(参考:「日経ビジネス」2015年6月22日号)

## 経営者のための理念・哲学

**疑問 (好奇心) を持って研究に打ち込む**

赤崎 勇 (名城大学 終身教授)

1. 私が仕事をする上で、実践しようと心掛けてきたのは次の五つです。
  - (1) 夢 (やりたいこと、目標) を持とう
  - (2) 失敗を恐れない
  - (3) やろうと決めたことは、最後まで諦めない
  - (4) 疑問 (好奇心) を大事にする
  - (5) 輪 (仲間、友達) を広げる
 このうちのどれか一つでも実践できるといいと思っています。
2. 私は名城大学の卒業式で学生に「自分の本当に好きなことをやりなさい。ほんとに好きなことだったら、たとえ上手にいかず落ち込んでも、また立ち上がって続けることができる」という話をします。流行の研究を追うのもいいですが、大事なものは研究者自身が、好奇心を持って思い切って研究に打ち込むことです。  
(参考:「致知」2015年9月号)

## 新規成長分野

**空き家の活用には詳細な情報が必要**

野口 悠紀雄 (早稲田大学ファイナンス総合研究所顧問)

1. 現在の日本には、空き家が総住宅数の1割を超える規模で存在する。高齢化の進展などにより、空き家率は将来さらに高まる可能性がある。2014年11月に成立公布され、2015年5月20日に全面施行された「空き家等対策の推進に関する特別措置法」は、一定条件を満たす空き家を自治体が「特定空家」に指定し、所有者に解体や修繕などを勧告・命令できる権限を与えた。命令に応じない場合は、自治体に取り壊し費用を所有者に請求する。
2. これまで、空き家を有効活用しようとの観点はあまりなかった。活用しようとするれば、これまでよりは格段の詳細な個別情報が必要になる。面積、位置などの情報の他に権利関係、所有者の処分意図の有無、希望売却価格などの情報がある。そして、それらの情報が、再利用希望者に与えられなければならない。こうした情報が集積されれば、空き家の有効活用は進むだろう。  
(参考:「週刊ダイヤモンド」2015年6月27日号)

## 古典に学ぶ

**身のほど知らず**

(解説) わが身のほども考えず、<sup>おほ</sup>夸父 (伝説上の巨人) は太陽を追いかけた。追っ手追って隅谷 (日の沈むところ) のきわまで駆けていった。のどがかわいたので、黄河と渭水をのみほした。それでもたりず、走って行って北の大沢湖の水をのもうとした。だが途中で渴きのため倒れ、死んでしまった。

(参考: 奥平卓・大村益夫訳「老子・列子」: 徳間書店)